

平成31年1月30日

養牛・養豚農家、関係機関の皆様へ

韓国で口蹄疫（0型）が発生

平成31年1月28日（月）、韓国の養牛農場において口蹄疫の発生が確認されました。

韓国における本病の発生は、昨年4月の発生（養豚2件、A型）以来、約10か月ぶりとなります。

1 発生状況及び対応

(1) 農場 京畿道安城市養牛農場（120頭飼養）

1月28日（月）、牛20頭が流涎、水疱等の症状を呈したため通報、同日、口蹄疫ウイルスを確認。

1月29日（火）、口蹄疫（0型）と確定

(2) 防疫措置

- ・発生地域と隣接地域を対象とした偶蹄類農家、と畜場、畜産関係施設出入り車両等の一時移動制限と一斉消毒（1月28日20時30分～1月29日20時30分までの時間）
- ・殺処分
- ・発生農場の半径500m以内の農家（9戸）および疫学関連農家（23戸）の緊急立入
- ・緊急ワクチン接種（京畿道安城市および隣接する6市郡の牛・豚農家）
- ・全国偶蹄類農場の予察強化



2 皆様へのお願い

(1) 飼養衛生管理基準の遵守の徹底を！

- ①関係者以外の農場への立入を制限し、人・車両の出入り時に消毒等を徹底
- ②口蹄疫発生国への渡航を自粛。また、発生国に滞在歴があるなどウイルスを伝播させる可能性のある人及び物品を農場等に近付けない

(2) 早期発見・早期通報を！

右の症状を呈している家畜を
発見した時は、遅滞なく
当所まで届け出てください。

- ①発熱(39℃以上)、流涎(よだれ)、跛行、乳量低下
- ②口、鼻、蹄、乳頭に水疱、びらん、潰瘍の形成
- ③複数の家畜に症状が認められる

愛知県西部家畜保健衛生所 開庁時 0569-72-0344 閉庁時 090-1780-9359

尾張支所 開庁時 0568-81-1874 閉庁時 080-3285-4870